

平成30年度 第 8 回教育委員会定例会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第19号 平成30年10月18日付け教育委員会職員人事異動について	教育委員会職員の異動を報告するものである。	特記事項なし	
報告第20号 平成30年11月1日付け教育委員会職員人事異動について	教育委員会職員の異動を報告するものである。	特記事項なし	
報告第21号 垂水市社会教育関係表彰規程の一部改正について	垂水市社会教育関係表彰規程の一部改正について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
報告第22号 平成30年度垂水市一般会計補正予算(第4号)案についての市長への意見申出について	平成30年度垂水市一般会計補正予算(第4号)案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
議案第18号 鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について	鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正を改正しようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第19号 垂水市学校教職員住宅管理規則の一部改正について	垂水市学校教職員住宅管理規則の一部改正を改正しようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第20号 平成30年度社会教育功労者の決定について	垂水市社会教育関係表彰規程に基づき、平成30年度社会教育功労者を決定するものである。	特記事項なし	承認

<p>議案第21号 垂水市教育支援委員会答申について</p>	<p>垂水市教育支援委員会の答申を受けて、児童生徒の望ましい措置を決定しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
------------------------------------	---	---------------	-----------

平成29年度 第 8 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成30年11月12日（月）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後4時04分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員長 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p> <p>教育委員 田之上 厚美</p>	<p>教育総務課長 紺屋 昭男</p> <p>学校教育課長 明石 浩久</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成30年度第8回教育委員会定例会を開会した。
議案第20号から21号の2件は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成30年度第7回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

- 報告第19号 平成30年10月18日付け教育委員会職員人事異動について
- 報告第20号 平成30年11月1日付け教育委員会職員人事異動について
- 報告第21号 垂水市社会教育関係表彰規程の一部改正について
- 報告第22号 平成30年度垂水市一般会計補正予算（第4号）案についての市長への意見申出について
- 議案第18号 鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について
- 議案第19号 垂水市学校教職員住宅管理規則の一部改正について
- 議案第20号 平成30年度社会教育功労者の決定について
- 議案第21号 垂水市教育支援委員会答申について

4 その他

なし

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	報告第 19 号
教育総務課長	平成30年10月18日付け教育委員会職員人事異動について、平成30年10月18日付け教育委員会職員人事異動について、その内容を報告した。
	報告第 20 号
	平成30年11月 1 日付け教育委員会職員人事異動について 平成30年11月 1 日付け教育委員会職員人事異動について、その内容を報告した。
葛迫委員	新たな係長が来られたことに対し、2係長を兼務されていた方の業務が軽減され良かったと思う。これで社会教育課の業務も少しはやり易くなっていくのではないかと思う。
	報告第 21 号
社会教育課長	垂水市社会教育関係表彰規程の一部改正について 垂水市社会教育関係表彰規程の一部改正について、教育長の臨時代理により規定を改正したこと、及びその内容について報告した。
野村委員	今までは表彰する団体が無かったということか。
社会教育課長	文化的団体の表彰はあった。しかし、社会教育的事業に功労等のあった個人は規定されていた。団体という規定が無かったため功労等があっても表彰できなかったということだ。
野村委員	団体という表彰対象規定が無かったため、団体を追加して改正をしたものか。
社会教育課長	そのとおりだ。
	報告第 22 号
教育総務課長	平成 30 年度垂水市一般会計補正予算（第 4 号）案についての市長への意見申出について 補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。
教育長	補正予算の小学校教育費の学校図書整備補助金の内容について、学校教育課長の説明を求める。
学校教育課長	この補助金については、5月に亡くなられた市民で元国語教師の方の遺言で、「子どもたちの読書振興に役立ててほしい」と代理人の方からあり、垂水小学校への限定ということで寄付があったものだ。
野村委員	補正予算額については妥当なものなのか。

教育総務課長	人件費等については、社会保険料の改定や、職員の異動等で増額が必要となったことから補正予算を計上したもので、修繕や工事費については突発的に必要が生じたために、流用等をせずに議会の承認を得るために予算計上したものだ。補正予算は、当初予算確定以降に発生した事案で、予算を必要とするものについて計上するものだ。
野村委員	わかった。
教育総務課長	議案第 18 号 鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について 鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について、告示案及び新旧対照表により説明を行った。
田原委員	夜間合宿のバスについては、どのような行程か。
教育総務課長	夕方、垂水高校に集合後、バスに乗車し、森の駅たるみずで英語の徹夜合宿を翌朝まで行い、その後バスに乗車して学校解散となるものだ。
田原委員	バスについては、送り迎えだけをするものか。
教育総務課長	そのとおりだ。
野村委員	公用車のバスでの送迎ができなくなった理由は何か。
教育総務課長	公用車のバスについては、公用で必要な事業等の場合のみ使用できることになっており、夜間合宿については市の事業でないことから、送迎できなくなったものだ。
葛迫委員	合宿に係る経費とあるが、夜間合宿の旅館代は要らなかったのか。
教育総務課長	市の施設である森の駅たるみずでの合宿については、使用料を免除していただいております、費用は発生していません。
葛迫委員	改正については、今後バス利用や会場借り上げが発生したときに対応するためのものか。
教育総務課長	そのとおりだ。
野村委員	夜間合宿の参加者は何名ぐらいいたのか。
教育総務課長	今年 2 月は 20 数名の参加だ。
教育長	議案第 18 号は承認してよろしいか。

教育委員	(異議なし)
教育総務課長	議案第 19 号 垂水市学校教職員住宅管理規則の一部改正について 垂水市学校教職員住宅管理規則の一部改正について、規則改正の公布案及び新旧対照表により説明を行った。
野村委員	所管換えを行った住宅以外は居住者があるのか。
教育総務課長	そのとおりだ。
野村委員	その他の住宅は今後どのようにしていくのか。
教育総務課長	現在は教職員が住んでおり、今後老朽化により居住者がいなくなった場合は、所管換えを行うなどして有効活用を図るものだ。
野村委員	わかった。
教育長	議案第19号は承認してよろしいか。
教育委員	(異議なし)
	議案第 20 号 平成 30 年度社会教育功労者の決定について (非公開)
	議案第 21 号 垂水市教育支援委員会答申について (非公開)
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	教育委員並びに教育長及び各課長報告に入る。
野村委員	1. 「垂水市民文化祭、肝属地区広域文化祭について」 今年度の垂水市民文化祭は、肝属地区広域文化祭と合同開催ということで、ステージ部門・展示部門ともども大変盛り上がった雰囲気があった。規模がふくれ上がった分、関係の方々、特に裏方の方々は大変なご苦勞があったと思った。 開会式前のオープニングは、昨年につき一瞬にして別世界という、「シリウス」の、周りを圧倒する激しい演奏から始まった。

瞬時にして音響のただ中へ引き込まれていく自分が不思議に思えるくらいであった。ただ、惜しいと思う点があった。それは演奏の合間に楽曲の説明とか、チームメンバーの紹介とかのナレーションが入れば、更にすばらしい盛り上がりが見られるのではないか思えた。

何はともあれ、「シリウス」の皆さん、感動のステージをありがとうございました。

午後は展示部門を見て回り、それぞれの分野での作品が整然と展示されていた。趣味の世界が高度に完成したものが多く見られ、日々の精進、努力の成果が感じられた。

今年は体育館が使用できないということで、市民館大ホールが会場となったが、例年に比べて展示作品がもう少しあってもよいような気がした。文化会館ホールとの2か所での展示になったためではないかと思った。市内各学校の作品展示も、壁ではなく掲示板を使ったほうが全体的にも存在感が増して、インパクトが出るのではないかと思った。また、各学校、学年ごとに区分された掲示で、大変見やすく印象的だった。

その他、貝殻・昆虫・植物・岩石等の採集標本は、出品数がちょっと少なく感じた。

田原委員

1. 「水之上校区で行う十五夜について」

かつては、各集落でやっていた十五夜行事を、現在では三和センターを中心に、大人たちが子どもたちに指導しながら昔ながらのやり方でやっている。子どもたちを十五夜行事に、どう引き込んでいくかと考えている。

10月14日(日)の6時30分から7時30分に、振興会の教養文化部の男性陣6名で「かずら」を山に取り行き、取った「かずら」は軽く土をかぶせ、時々水をかけながら一週間保管しておく。

10月20日(土)の9時から12時に、振興会の方々、育成会の保護者を合わせて15名ぐらいと、4年生以上の子どもたち20数名が一緒になり、取ってきた「かずら」で綱かき(綱作り)をした。大人だけであれば、1時間30分ぐらいで20メートルは編めるのだが、子どもたちに手取り足取りで指導しながら編むので、たっぷり3時間かかった。

一週間後の10月27日(土)の18時から20時に、三和センターグラウンドで、綱引きと相撲大会を行った。小学生、保護者、振興会、地域の方々130名ぐらいが集まって、自分たちで作った綱で綱引きをし、ちぎれた綱や、わらを敷いて土俵を作り相撲をとらせた。小学生の男女の隔てない真剣勝負でたいへん盛り上がった。3週間がかりで、大人たちの苦労は多く、大変ではあるが、地域の伝統行事として子どもたちに伝えていきたい行事である。

2. 「垂水市スポーツフェスティバルについて」

10月21日(日)は、快晴で寒くもなく、暑くもなく最高のスポーツ日和であった。

今年から、競技方法や種目の内容が全く変わったので不安であったが、やってみたら、それほど緊張もなく楽しく参加できた。どの種目も工夫されていて、やっていて楽しかった。参加された方も満足されていた。

グラウンドゴルフだけは、やっている人は楽しいが、見ている方は何を

	<p>やっているか分からず、また、時間も長いので帰ってしまった方もいた。グラウンドゴルフは、別に大会もあるのだから、競技として取り入れなくても良いのではないかと思った。</p> <p>選手選考では、子育て世代や中高生などの参加が得られず、結局、公民館組織である、振興会員や女性部員、運営委員の参加中心のメンバーとなってしまったが、参加された方は、やってみて満足されたようであった。</p> <p>3. 「手貫神社の豊年祭について」</p> <p>11月3日(土)、手貫神社(上之宮神社)豊年祭の神輿担ぎに、昨年から中高生が参加している。今年も、大人神輿の担ぎ手として、垂水中央中と垂水高校に参加を呼びかけたところ、水之上校区の中学生が5名(うち女子2名)、鹿児島市から垂水高校に通っている生徒1名の計6名が参加して祭りに華を添えてくれた。これも伝統行事を若い世代に伝えていきたい試みの一つである。</p>
葛迫委員	<p>1. 「スポーツの秋・文化の秋について」</p> <p>10月に入ると、「スポーツの秋・文化の秋」といった行事が目白押しで、9月までの台風シーズンから逃れ、開催中止ということもなく、市民にとっては、楽しくすがすがしい秋が続いてくれたのではないかと思った。</p> <p>スポーツの秋では、9月30日(日)に開催予定であった松ヶ崎小学校・松ヶ崎地区公民館との合同大運動会が10月14日(日)に延期となり、小学生9名の児童と松ヶ崎地区を、辺田と麓の二手に別けての熱のこもった大運動会であった。特に、辺田・麓、両地区のライバル心はゲートボールや綱引きなどに顕著に現れ、見る人にとっては楽しく希望を与えるものだった。</p> <p>9名の児童で行う小学生の大運動会は、一人一人が一生懸命に応援の声を張り上げ、競技では、かけっこや短距離走、綱引きなどに熱中し頑張っている姿が、とても印象的だった。</p> <p>文化の秋では、10月20日(土)に文化会館で開催された、垂水高校の文化祭に参加した。10月18日付けの南日本新聞にも掲載されていた、人工知能(AI)を使って、旧国鉄垂水駅や体育祭など白黒写真で写された当時の様子が、カラーで色付けされて展示されていた。</p> <p>少し色あいが綺麗すぎる感じはしたが、遠い日の昭和の様子が懐かしく、ありがたく思えた。</p> <p>また、11月4日(日)の垂水市民文化祭は肝属地区広域文化祭と合同開催され、私事ではあるが、今回の肝属地区広域文化祭式典に於いて表彰していただいた。</p> <p>これまでお世話になった方々に感謝するとともに、これからの地域文化の育成・継承に努力していきたいと思う一日であった。</p>
田之上委員	<p>1. 「垂水中央中学校の合唱コンクール・文化祭鑑賞について」</p> <p>垂水中央中の合唱コンクールは、私にとってとても好きな行事の一つである。合唱コンクール当日までの過程では色々あったと思うが、やがてクラス心が一つになったときに生まれる、あの美しい歌声。中央中の子ど</p>

もたちの合唱は、先輩たちから引き継がれる素晴らしいもので、今年も名ピアニストや名指揮者が、生徒の中にたくさんいた。また、運営に携わる実行委員の態度も立派で、舞台を鑑賞する態度も更に立派だった。

保護者席の方々も静かに鑑賞されていたが、空席が目立ったり、わが子の出番が終わると席を立たれたりする方を目にする、少し残念な気持ちになったが、昼食時にはシートを広げて歓談される方々もいて、「きっと午後の部も見てくださることだろう」と思うことであった。

2. 「地域が育む「かごしまの教育」県民週間について」

11月1日から7日まで、地域が育む「かごしまの教育」県民週間となっていたことから、水之上小学校と垂水小学校を訪問した。

実りの時を迎え、のどかな風景を楽しみながら水之上小に着くと、掃除の行き届いた校舎と気持ちの良い「こんにちは」の言葉に迎えられた。工作や版画製作に取り組む様子を廊下で見ていると、「中へどうぞ」の言葉に甘えて中へ入り、間近で作品を見て子どもたちに声かけすることだった。

5年生はミシン掛けの授業で、男性の先生が一人で子どもたちの対応されていることに感心した。

垂水小では学校評議員も兼ねていて、クラスを回ると、どのクラスも活気にあふれ真剣に授業を受けていた。

また、「1年生と昔遊びをしよう」という時間にも参加した。お手玉、竹とんぼ、けん玉、羽根つきなど、はじめはうまくできなかった子どもたちも、大人の方に教えてもらいながらだんだんできるようになっていった。子どもたちも、おじいちゃん、おばあちゃん方も楽しそうだった。地震発生を想定した訓練も途中あり、頭を守る姿勢をとったりした。

3. 「読書まつりについて」

垂水小学校であった、「読書まつり」という行事に参加した。体育館で下学年・上学年それぞれ40分のおはなし会をさせていただき、楽しい時間を過ごした。

この行事も14回目で、子どもたちに、「これが始まったとき、あなたたちはまだ生まれていないのよね」と先生がおっしゃった時、感慨深いものがあった。

読み聞かせのメンバーもだんだん減ってきて、小学校保護者のOBだけになっていたが、今年は小学生の保護者が新しく2～3名お手伝いをいただき、私たちも子どもたちから元気をいただきながら「おはなし会」をすることであった。

絵本や紙芝居も大型のものを用い、パネルシアターや参加型のおはなしなど普段ではできないものを使ってみた。「子どもたちと本をつなぐきっかけの一つになれば」と思いながら、一緒に楽しい時間を過ごした。

教育長

スポーツの秋、文化の秋、芸術の秋など、週末はさまざまなイベントがあり、教育委員の皆様にはいろいろな行事等にご参加いただき、ほめていただいたり、改善点を指摘していただいたり、ありがとうございます。今後の事業推進に役立てていきたいと思う。

1. 「九州都市教育長協議会総会について」

10月11日(木)、12日(金)に、九州都市教育長協議会総会に出席し、その場で垂水市の生涯学習について発表させていただいた。

本市は小さい町ではあるが、他の教育長の方々からは、「まあ、小さい町ながら素晴らしいイベントをいろいろやっていますね」との声があった。いわゆる垂水の良さを生かした、「垂水ならではの」生涯学習ということで発表した。

例えば、学校応援団の活動であったり、自主文化事業であったり、あるいは文化財がいっぱいあり、それをコーディネートする人を配置しながらその普及に努めていたり等、様々な取組みをしている。とりわけびっくりされたのは、瀬戸口藤吉翁の生誕の地であること、和田英作の生誕の地であることで、この両偉人を顕彰してのさまざまな事業を実施していることに対し、評価が高かった。

「そういう方がいらっしゃるということは本当に強みですね」との意見もあった。その他、ブックスタート事業のことであったり、たるスポであったり、「うちでも作りたいが、なかなかできないのが現状である」と他の教育長からの声もあった。シーカヤック大会であったり、ウォーキング in 猿ヶ城であったり、本当にさまざまな事業をやっているなどと思った。

一方で、このような行事に市の職員が多く関わり、市職員の能力や運営力の高さに感謝したり、誇りに思ったりすることであった。学ぶ点も非常に多く良い研修会であった。

2. 「垂水市小学生陸上記録会について」

小学生の陸上記録会を見て、体力や運動能力の危機を感じている。と言うのも、平成25年から新記録が生まれていないということだ。鹿児島県においても言えることだが、学力も低下して、体力運動能力も低下しているという相関関係は非常に深いと思っている。

そのようなことから、来年度は少し体力や運動能力に視点を当てながら教育を進めていきたいと思っている。一校一運動や、一家庭一運動など強化していく必要があると思っている。

3. 「地域が育む「かごしまの教育」県民週間について」

県民週間の期間、全学校を訪問した。小規模校は頑張っていると感じた。落ち着いた雰囲気の中、きめ細やかな教育が展開されていることに感動したところであった。

中学校訪問は、たまたま3年生の歌声の場面から入った。いいなあと感じた。田之上委員がおっしゃったように、伝統が引き継がれているというか、3年生の歌声は圧巻であった。それと弁論大会もいいなあと感じ、その思いがしっかりと伝わる内容もさることながら、堂々とした話し方も良かった。その中で、ねがわくば「一人でも男子生徒がいたらなあ」と思いながらも、やはり良い学校だなと思うことであった。中学校、小学校ともに、これからも頑張っていってほしいと思った。

4. 「学力向上について」

学力向上について大事にしたいのは、授業のきまりやルールの徹底。い

<p>教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長</p> <p>6 閉 会</p>	<p>わゆる、形から入るという意味であるが、このことによって「授業のメリハリが生まれてくる」のではないかと、改めてそのような気がする事だった。</p> <p>今後も教育委員の方々には、学校を訪問していただく機会があるが、良いところはほめて、改善点はしっかりと指摘していただきたいと思っている。</p> <p>10月10日から11月12日までの主な行事等について報告。 併せて、12月10日までの予定についてお知らせした。</p>
--	--